



店舗用 業務用有圧換気扇 (標準タイプ・格子タイプ・メッシュタイプ排気形/給気形・引きひもタイプ)

厨房用 業務用有圧換気扇 (メッシュタイプ・フィルター付タイプ) 耐湿形 業務用有圧換気扇 (格子タイプ)

Table showing product specifications for various fan types: 標準タイプ, 格子タイプ, メッシュタイプ排気形/給気形, 引きひもタイプ, メッシュタイプ, フィルター付タイプ, 格子タイプ. Includes model numbers like EFG-20SB2, EFG-25MSB2, etc.

据付工事説明書

販売店・工事店さま用

据付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

別冊の「取扱説明書」はお客様用です。必ずお渡しください。

- 据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・工事店様が実施してください。
■電気工事は電気工事士の方が実施してください。

- この製品は屋内用です。
●この製品には別売品(システム部品)のコントロールスイッチまたは、市販の埋込スイッチが必要です。(引きひもタイプを除く)

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

Warning and caution icons with text: 警告 (定格電圧、定格周波数以外では使用しない), 注意 (直接炎がたつおそれがある場所には据付けられない), 禁止 (爆発性の粉じんやガスの発生する場所には据付けられない), 指示に従う (燃炎で排気する燃焼器具を設置した部屋の排気には使用しない), アース取付 (アースを確実に取付ける)

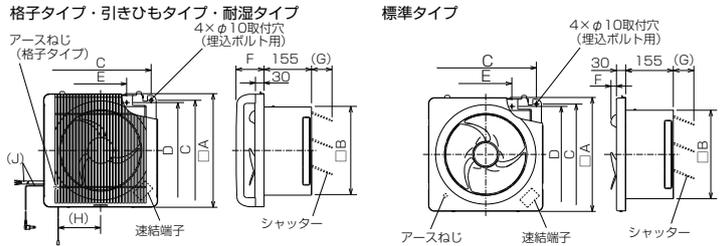
お願い

- 次のような場所には据付けられない(故障の原因になります)。
●引ひもは必ず下につまむ。斜めに引るとスイッチが故障する原因になります。
●羽根が回転している際は、羽根・シャフトにふれない。
●製品の複数台接近して据付ける場合、製品中心間距離は羽根直径の3倍以下の間隔で据付けられない。羽根の破損・変形する原因になります。

この製品は高所取付用です(1.8m以上)……危険防止のため、人が容易に触れることができる場所には据付けられない

- スプレー(殺虫剤・整髪料・掃除用など)をかけない。
●耐湿形格子タイプは浴室など湿度の高い場所で使用できません。
●効果的な据付場所
■天井近くの高いところで反対側に空気取入口があるところ。(給気形を除く)

外形寸法図

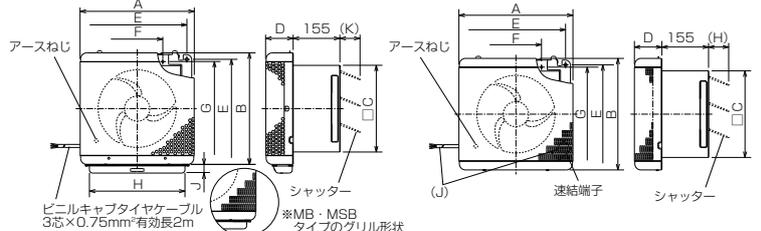


変化する表 (単位: mm) for 格子タイプ・引きひもタイプ・耐湿タイプ. Columns: 形名, A, B, C, D, E, F, G, H, J. Rows: EFG-20KSB2-W-C, EFG-20KSB2-P, etc.

変化する表 (単位: mm) for 標準タイプ. Columns: 形名, A, B, C, D, E, F, G. Rows: EFG-20SB2, EFG-25SB2, EFG-30SB2.

*格子タイプは差込みプラグコード(1.7m)同梱 (コンセント接続と接続端子接続の選択可)
*ケーブルはビニルキャブタイヤケーブル3芯×0.75mm²有効長2m

厨房用メッシュタイプ・厨房用フィルター付タイプ

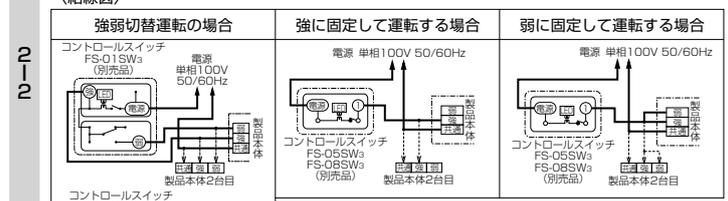


変化する表 (単位: mm) for 厨房用メッシュタイプ・厨房用フィルター付タイプ. Columns: 形名, A, B, C, D, E, F, G, H, J, K. Rows: EFC-25MSB2, EFC-30MSB2, EFC-35MSB2.

変化する表 (単位: mm) for メッシュタイプ(排気形/給気形). Columns: 形名, A, B, C, D, E, F, G, H, J. Rows: EFG-25MSB2, EFG-30MSB2, EFG-30MFSB2.

据付方法

Installation instructions: 1. 壁穴工事 (壁穴は天井や左右の壁から100mm以上離してあける), 2. 電気工事 (電気工事は必ず有資格者である電気工事士が内線規程や電気設備技術基準に従って行う). Includes diagrams for wall drilling and wiring.



※太線部分の結線を行ってください。
※複数台運転する場合はコントロールスイッチの電源容量にご注意ください。
■耐湿形格子タイプの場合
1. 結線をする。(本体据付け後行います)
(1) 単相100Vに接続する。
(2) D種接地工事(アース)を行う。

■引きひもタイプ④の場合

1.壁穴より50mm以上かつコードの届く範囲にコンセントを設置する。

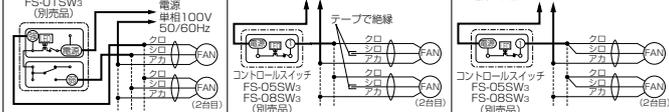
■メッシュタイプ給気形⑤・厨房用メッシュタイプ⑥・フィルター付タイプ⑦の場合

1.結線をする。(本体据付け後行います)

(1) ケーブルからの配線色を確認し、確実に単相100Vに接続する。*ビニルキャブタイケーブルの露出配線となります。

(2) D種接地工事(アース)を行う。

〈結線図〉 ※太線部分の結線を行ってください。



※複数台運転する場合はコントロールスイッチの電源容量にご注意ください。

- お願い**
- 埋込コンセントの取付用ボックスは、JIS C 8340に規定の市販品を利用してください。
 - モーターの過負荷保護のためモーターブレーカまたは電磁開閉器(電磁接点触器+サーマルリレー)の過負荷保護装置を配置してください。過負荷保護装置は必ず機器1台ごとに取付けてください。過負荷保護装置の選定は最大負荷電流の1.2倍程度を目安にしてください。過負荷保護装置の選定にあたっては取扱説明書の仕様の欄の最大負荷電流を参考にしてください。

3 本体の取付け

■①②③④⑦タイプ(厨房用を除く)の場合

1.パネル・スピナー・羽根をはずす。

- パネルは下側にあるねじ(2本)をゆるめ、左右を持って上部の引掛部よりはずす。
- スピナーは羽根を軽く持って「ユルム」の方向に回してはずす。羽根は切欠部を合わせて事前に引いてはずす。

■厨房用メッシュタイプ⑤

フィルター付タイプ⑥の場合

1.油受け・パネル・スピナー(35cmはナット・ワッシャー・スナップピン)・羽根をはずす。

- 油受けは、上にスライドさせてはずす。
- パネルは正面にあるつまみねじ(A)(2本)をはずし、左右を持って上部の引掛部よりはずす。
- 羽根をはずす。
 - 25・30cmタイプの場合は、羽根を軽く持って、スピナーを「ユルム」の方向に回してはずす。
 - 35cmタイプの場合は、軸からスナップピンを抜いてから羽根を持ってナット・ワッシャーをはずす。羽根は事前に引いてはずす。
- 本体カバーの正面にあるつまみねじ(B)(2本)をはずし、左右を持って上部の引掛部よりはずす。

(フィルター付タイプ)

- 油受けは、上にスライドさせてはずす。
- パネルは正面にあるつまみねじ(A)(2本)をはずし、左右を持って上部の引掛部よりはずす。
- 本体カバーに固定しているフィルターのつまみねじ(B)(4本)をはずす。
- 羽根をはずす。
 - 25・30cmタイプの場合は、羽根を軽く持って、スピナーを「ユルム」の方向に回してはずす。
 - 35cmタイプの場合は、軸からスナップピンを抜いてから羽根を持ってナット・ワッシャーをはずす。羽根は事前に引いてはずす。
- 本体カバーの正面にあるつまみねじ(C)(2本)をはずし、左右を持って上部の引掛部よりはずす。

■①②③④⑦タイプ(厨房用を除く)の場合

2.本体を据付ける。

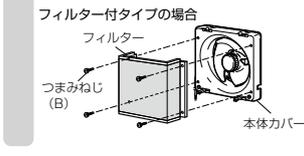
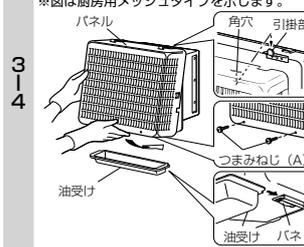
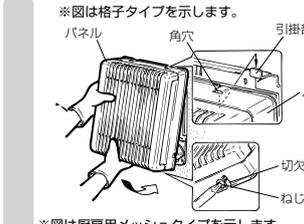
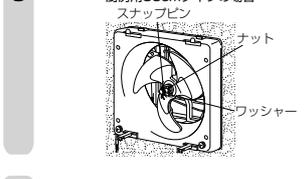
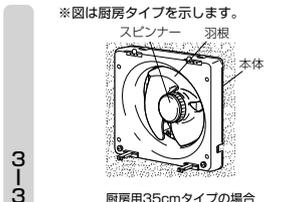
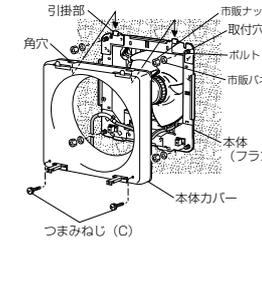
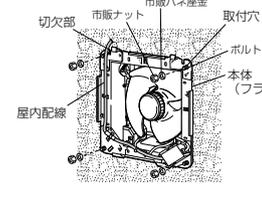
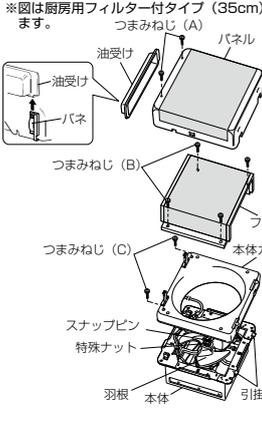
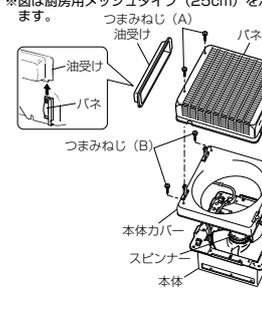
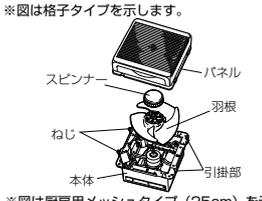
- 屋内配線を本体上部の切欠部から本体内部に引き込む。(耐湿形格子タイプ・引きひもタイプ・メッシュタイプ給気形を除く)
- 本体の取付穴(4か所)にボルトを通し、市販のバネ座金・ナットで確実に固定する。
- 結線をしす。(電気工事(裏面の結線図)を参照してください)

■厨房用メッシュタイプ⑤・フィルター付タイプ⑥の場合

2.本体・本体カバーを据付ける。

- 本体の取付穴(4か所)にボルトを通し、市販のバネ座金・ナットで確実に固定する。
- 本体カバーの角穴を本体上部の引掛部に差し込む。
- 本体カバー正面からつまみねじ(C)(2本)を取付ける。

- お願い**
- 本体のフランジ部と壁の間にすき間がないようにしてください。
 - システム部材の木枠・不燃枠・取付枠・絶縁枠に据付ける場合は、本体上下の4か所の取付穴を利用し確実に固定してください。



■全タイプ共通

3.羽根・スピナー(厨房用35cmはナット・ワッシャー・スナップピン)を取付ける。

- 20~30cmタイプの場合
 - 羽根とモーター軸の切欠部(C)を合わせて羽根をモーター軸に差し込む。
 - 羽根を持ってスピナーを「ユルム」の反対方向に回し羽根に当たるまで締め付ける。

●厨房用35cmタイプの場合

- 羽根とモーター軸の切欠部(C)を合わせて羽根をモーター軸に差し込む。
- ワッシャーを通し、ナットを締付トルク(5.8~6.3N・m)で確実に締め付ける。
- 軸にスナップピンを差し込む。

■①②③④⑦タイプ(厨房用を除く)の場合

4.パネルを取付ける。

- パネルの角穴を本体上部の引掛部に差し込む。(角穴に確実に差し込まないと、羽根とパネルが接触して、故障するおそれがあります)
- 下側の切欠部を本体のねじ(2か所)にはめ込みねじを締め付ける。

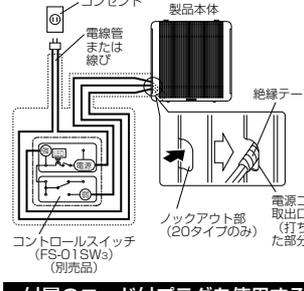
■厨房用メッシュタイプ⑤・フィルター付タイプ⑥の場合

4.パネル・油受けを取付ける。

- [メッシュタイプ]
- パネルの角穴を本体カバー上部の引掛部に差し込む。
 - パネルと本体カバーを正面からつまみねじ(A)(2本)により取付ける。
 - 油受けを図のようにスライドさせ、「カチッ」と音がするまで押し込む。
- [フィルター付タイプ]
- フィルターを本体カバーにつまみねじ(B)(4本)により取付ける。
 - パネルの角穴を本体カバー上部の引掛部に差し込む。
 - パネル・本体カバーを正面からつまみねじ(A)(2本)により取付ける。
 - 油受けを図のようにスライドさせ、「カチッ」と音がするまで押し込む。

- お願い**
- パネルがねじで確実に取付けられているか確認してください。確実に取付けられていないとパネルが落下するおそれがあります。

露出配線工事の場合 (標準タイプ①、格子タイプ②、メッシュタイプ(排気形)③)

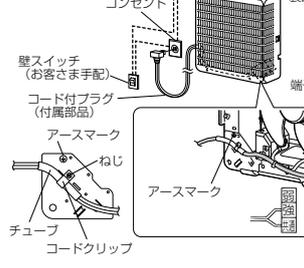


■露出配線はパネル側面の左から取出す。

- 取出す位置のノックアウトを打ち抜く。(20cmタイプのみ)
- 左図のように結線する。
- 露出配線の傷付きが生じないように市販の絶縁テープを電源コード出口部分(打ち抜いた部分)の露出配線に巻き付ける。

- お願い**
- 露出配線が引っ張られたとき速結端子に張力が加わらないよう市販のコードクリップで露出配線を止めてください。

付属のコード付プラグを使用する場合 (標準タイプ①、格子タイプ②、メッシュタイプ(排気形)③)



■コード付プラグはパネル側面から取出す。

- 取出す位置のノックアウトを打ち抜く。(20cmタイプのみ)
- 付属のコード付プラグをアースマーク下部のねじとコードクリップを使用して固定する。
 - コード付プラグのチューブはコードクリップ・電源コード出口(打ち抜いた部分)の位置にくるように止める。
- 端子カバーを外し、付属のコード付プラグを端子ボックスの表示を参照して確実に結線する。
 - 「弱」運転にする場合は、強と弱を短絡させる。

試運転

据付けが終わりましたら、次の手順に従って試運転をしてください。

- 正しく電気工事がされているかご確認ください。
 - 正しく結線やアース工事がされていますか
 - 電源コードに傷やいたみはありませんか
- ブレーカーを入れ、試運転をしてください。

■試運転時に、次のような症状があれば点検してください。

こんなとき	原因	点検・処置
電源スイッチを入れても羽根が回転しない	分電盤のブレーカーが「切」になっている 正しく結線されていない	ブレーカーを「入」にする 結線を確認する(スイッチ部/電源線接続部)
運転中に異常音や振動がする	本体・パネル等が確実に据付けられていない 羽根・パネル等に異物が付着している	据付け直す 異物を取り除く